

十月三十日にほくぎ

わうばで車いす体験高

れい者体験・しかくし

うがい者体験の3つの

体験をしました。

そのうちの一つのしゅう

かがとこれからどうし

きふなどを発表した

いと思ひます。

一つめは車いす体

験のことです。

この体験では坂だ

んさなどの体験を

しました。



①は足をおくところ

です。おりたたみ式

になつていました。

②車イスのタイヤです。

乗っている進むとき

まわします。

うしろの人がフイッ

ッくれたカチ大じ

うがです。

坂では車イスのフ

アのぼるのは大へん

うれうにやがたりレ

たインです。

たんきでは前からのぼ

ろうとするとのぼれな

いのでうれうからのぼ

とうまくのぼることが

できました。

これからはおとし

よりにもやさしくし

うがい者やけがをし

ついる人をささずけ

ないでささずけたり

するなどとやさしい

人になりたいです。

せつめいコーナー



上座ブロック
しかくしゅうが
い者の人など
がさかたり
するとうい

ほくぎ新聞

私たち4・4は10/30(木)にはほくぎ広場に行きました。

体験したこと

①車いす体験



車いすに乗るたり、車いすを押し車いすを。おしたりしました。

乗るのもおすのも、乗るだけ、坂や、たんずが大変でした。

②視覚しようがい者体験

アイマスクをつけて、白杖を持って、サポートしてもらいながら歩きました。何も見えなくて、何も分からなくて、すごくかわかったです。



③高れい者体験

体におもりをつけて、ひじやひざが曲がりにくく、いようにして、耳は、ヘッドフォンをつけて聞く、目には、ゴーグルをつけて見えにくくして、階段やスロープを上り下りしてみました。

ひざが曲がりにくいので、階段をよるのはすごく大変でした。でも、スロープは、とても上りやすかったです。色のテストもしました。目が見えにくいゴーグルをつけているので、色がよく分かりませんでした。



やって気付いたこと

3つの体験は、どれもすごく大変だったから、しょうかい者や高れい者の大変さがよく分かりました。



これからしていきたいこと

体験で、いろいろなことが分かったから、これから、車

「バリアフリー」とは？

「バリア」→「じゃまするよなかへ」
「フリー」→「とりのぞく」「自由になる」
つまり「バリアフリー」→「かべをとりのぞいて自由にする」
こころ→生活していく上でこまったり、不便だと思ったりするものを

いすに乗っている人や、白杖を持っている人歩いてる人を見かけたら、助けてあげたいと思います。



ぼくぎ

新聞

11月10日 (月)

車いす体験

ぼくたちは車いすの体験をしました。

ほんとに足が不自由な人はとてもかわいそうだと思います。ぼくも今度、車いすに乗っている人を見つけたら助けてあげようと思います。

目が不自由な人の体験

いつもこんな感じで歩いているんだなあと思います。とても大変だと体で感じました。

点字ブロック

点字ブロックは足の感覚で歩けるといい点である。



目が見えない人が持つぼう

ぼくの考え

目が見えない不自由な人に道案内してくれるロボットがいたら良いと思います。

これからやっていきたい事

車いすの人が道の端でたおれていたら助けてあげようと思います。